

組織	会長	木谷玲子	(新山小学校)
	副会長	田村稔	(岩谷小学校)
		菊地邦彦	(新山小学校)
	事務局	山下奈知	(本荘東中学校)
	研究部長	関口琢也	(象潟小学校)
	会計	須田秀二	(仁賀保中学校)

## 主な事業

平成31年度造形部総会	4 / 11	造形部研修会	12 / 6
本荘由利児童生徒美術展 11 / 29 ~ 12 / 2		夏季研究集会への参加 8 / 9 その他 本荘由利小・中・高等学校の図画工作・美術の研究授業への参加(各校研究授業等)	

## 研究会の記録

### 1. はじめに

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の作品がどうあるべきかを考察すること、また、教科別研究集会や研修・研究部会・児童生徒美術展・県児童生徒美術展作品審査への参加など、様々な形で積極的に研修することを当会の具体的な目標とした。

特に、児童生徒美術展は各校の造形活動の取り組みを紹介し合う機会であり、より幅の広い意味での情報交換の場となっている。奨励作品の審査・選出を通して作品の見方や造形活動の在り方について協議する活動の意義は大きい。

また、次年度からの小学校学習指導要領全面実施に向けて、来年度以降の研究主題や美術展の在り方について協議を行っている。

### 2. 各事業の成果

#### (1) 夏季研究集会への参加(8月9日)

本荘由利教育研究会造形部夏季研究集会では、菊地邦彦先生による「新学習指導要領全面実施に向けて」の講演と来年度以降の研究主題と児童生徒美術展の在り方について協議する研修を行った。講演は、児童生徒の思い(主題、表したいこと)に目を向けることや新学習指導要領で言われている図画工作科と美術科で身に付けたい生活や社会の中の色や形、美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の必要性を改めて考えさせられる内容であった。今回の講演を受けて来年度以降の研究主題や展覧会の在り方について提案がなされた。

#### (2) 本荘由利児童生徒美術展(11月29日~12月2日)

由利本荘市文化交流館「カダーレ」で開催した。テーマである「描くこと・つくることが大好き」を反映した個性豊かな作品が多く見られた。昨年同様、立体作品の充実には目を見張るものがあった。

出品作品の中から造形部が目指す作品を「奨励賞」として選出した。各小中学校の教職員及び、造形部員の熱心な取り組みと各校の協力で、運営面・作品の内容ともにより充実した美術展となった。

カダーレを会場として実施するのは8回目ということで、3日間で1681名の来場があり、多くの方々に見ていただけた。

来年度は本荘由利児童生徒美術展が新学習指導要領の趣旨に則った研修の場となるように協議を進め、具体的な提案を各校に発信していく必要がある。

#### (3) 造形部研修会(12月6日)

由利本荘市市民交流学習センター多目的ホールを会場に、県児童生徒美術展に出品する本荘由利の作品を選出する公開審査会として行った。26年度から立体作品の審査も行っているが、各校の出品数を事前に報告してもらうことで審査時間を短縮することができた。また、出品作品の保管も課題であったが、各校の協力により当日の審査後に再度作品を取りに来ていただくことができ、部員の負担を減らすことができた。

造形部員にとっては、児童生徒の作品の傾向・良さ・課題について話し合う有意義な研修の場となり、今後の授業に役立つ多くの情報を得ることができたはずである。